



大正九年十二月二十四日第三種郵便物認可（毎月一圓二十五日發行）
大正十四年五月二十四日印刷納本 大正十四年五月二十五日發行

第五卷

天 界

第五十三號

大正十四年六月號

内 容

繪口 去る一月末の日食寫眞（スローカム教授撮影）

ゼーリゲルの死を悼む 助教授理學士 荒木俊馬

天文學上の度量衡（附メートル法の使用をすゝむ） 教 授 山本一清

通俗天文講座 天空の逍遙遊者（續） 助教授理學士 荒木俊馬

エスピン氏を訪ふ記 教 授 山本一清

天文界の雜報片信 古賀恒星圖の正誤表（山本）

西から東へ（その二） 同好會岡山支部幹事 水野千里

海外日誌（二十七） 文部省在外研究員 山本一清

本年六月の天文現象 助教授理學士 上田穰

通信、報告、編輯だより其他

會 告

○六月の例會、來る六月十五日(月曜)午後七時半から京都大學々生集會所で例會を開き、左の講演があり、その後懇談をします。梅雨の候であります、若し其の夜の空が晴れてゐれば、無論、大學天文臺へ行つて天體の觀望をします。

講演 グリンキチ天文臺訪問の話

教授 山本 一清氏

天文同好會編

社會の要求により
今回増刷せる

簡 易 星 圖

縦一尺六寸
横一尺二寸

教授用に最適

定價一枚に付金拾錢
外に郵送無料

發 賣

京都大學天文臺

天文同好會

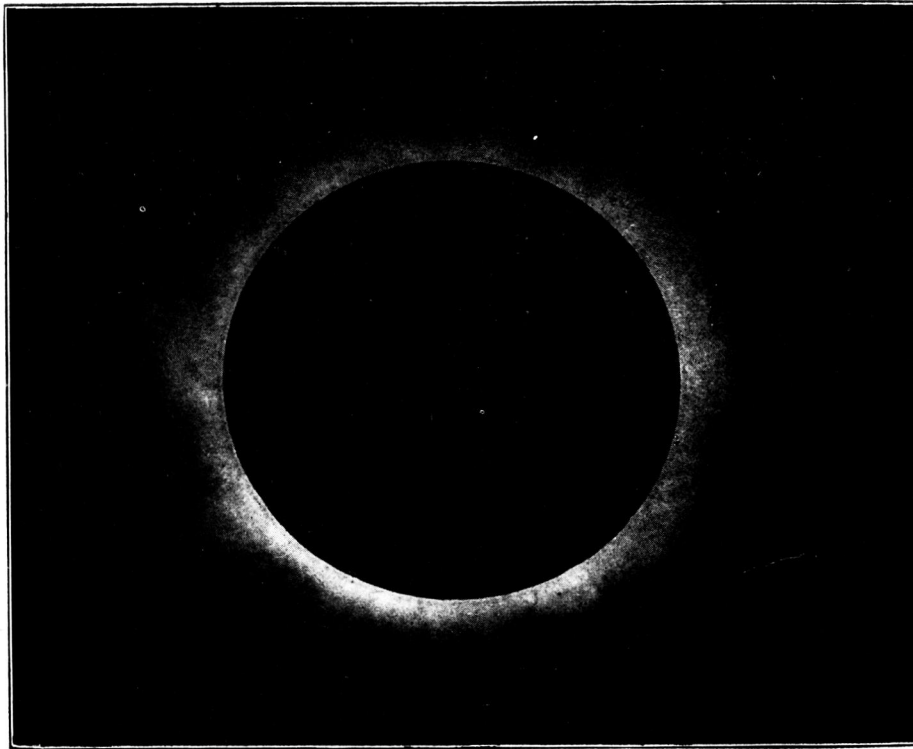
Contents of THE HEAVENS No. 53.....Edited by Issei Yamamoto.

Corona of the Solar Eclipse of January 24, 1925. (Frontispiece)	
T. Araki: Late Professor Hugo von Seeliger	167
Issei Yamamoto: On Astronomical Units, an Approval of the Metric System	172
T. Araki: The Wandering Stars in the Heaven (2).....	177
Issei Yamamoto: Visiting Rev. T. E. Espin	182
Tables of Corrections of the Koga Charts	189
Ch. Mizuno: From West to East (2).....	192
Issei Yamamoto: My Diary Abroad (27)	195
Y. Ueta: Heavenly Phenomena in June, 1925	200
Notes.....Reports.....Letters, etc.	

Published by the Society of Astronomical Friends,
Kyoto University Observatory.
(P. O. Box: Shogoin No. 11.)

眞寫の食日の日四廿月一年本

米國エスレヤン大學教授Fスローカム氏撮影



Solar Eclipse of January 24th, 1925

太陽曆を勵行

奈良縣磯城郡町村長及小學校長數十名は先般郡役所に會合し從來から郡内一般が太陰曆を墨守する惡風習を打破し太陽曆を勵行すべく協議を重ね左記を申合せた。

正月の儀式は太陽曆に依ること▲官幣大社大神神社徳道祭(大晦日おたいまつ)は太陽曆に依り太陰曆には何等執行しないこと▲大節季は太陽曆一月三十一日を以つて行ふこと▲籤入は同二月一日から始めること▲其他太陰曆を以つて一月中に於て行ふべき講話會、諸式等の行事は何れも皆太陽曆を以つて行ふべく交渉すること▲神社寺院等に於ける祭式法會等は必ず太陽曆に依ること。

ヘルセウス座ZZ星の觀測

自分が一九二二年に發見した此の變光星はZZ Perseiと命名され觀測も不充分なま、放置しておいたが入管前に是非變光性を確かめたいと思ひ九月下旬より十一月下旬に至る間六時半エリソン反射望遠鏡を使用して得た約七十個の目測を最近餘暇に計算しほゞ變光性質を確かめたので其の結果だけ御知らせしたい數時間連続した觀測が數回あるので急速なる

變光は明瞭に知り得る。

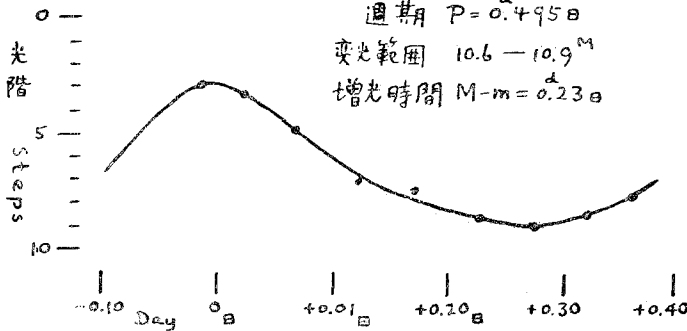
週期は○・四九五日此の倍が○・九九日である

ZZ Persei

週期 $P = 0.495 \text{ 日}$

變光範圍 $10.6 - 10.9 \text{ }^m$

増光時間 $M - m = 0.23 \text{ 日}$



るので毎夜僅かづ、時間が異つて居るが殆んど同じ状態の變光をする。變光範圍は六・二光

三六

階自分の光度として○・三一等で標準光度で一〇・六一一〇・九等六時半反射鏡にては適當な目的物である。變光は光度曲線による週期のセフェイドである。

觀測には通常一時焦點のケルナー接眼鏡即ち四十六倍のものを使用した。觀測結果は全く豫備的のものである。

四月二十九日

伏見野砲兵第二十二聯隊第一中隊

志願兵 中村 要

○岡山支部四月通信。

一、天界研究會。十一日午後七時から宮原幹事宅で開いた。

二、大黒點群。十三日二大黒點群と二大黒點を觀測した。

三、天文同好會總會。十八日京都で開催され水野幹事は出席即夜歸岡された。

四、天體觀測會。二十五日、二十九日の兩日關西中學校で催され、太陽の黒點、月、土星等を觀測された。

五、平松翁の近詠。平松翁は八十五の高齡に達せられたので、有志者相集まり揮毫を乞ひ其の歳にあやからんとしたので、翁は和歌を半切短冊に認め頼られたが、其の筆勢雄勁壯者を凌ぐ概があつた。

見も聞きも、またなすことも、おもしろくよなばへにけり、八十と五つこそ、

ひさかたの、そののみさりに、まかふまで、

たかくもたつる、みねのおいまつ

編輯室より

原稿が餘り多過ぎて、本號には譯文も英文欄も入れ得なかつたことを御詫言します。

セーリケル教授はドイツ天文學界の長老として永く幅をきかせてゐた人ですが、逝くにつて或る淋しさを感じます。荒木理學士は氏を申ふ文の筆著生として最適でせう。ちなみに荒木氏は先頃誕生された令息の名を、故セーリケル教授の貰ひ名から取つて雄豪(Hercules)とせられた。ちやうど、水澤の川崎氏が令息の名をニウトンの貰ひ名から取つて愛作(Neuton)とされたやうに。

天文度量衡の改善の實行の一助となるため、今後、わが天界誌上には成るべくメートル式を用ひたいものです。或は、少なくともインチや、フートや、マイルを書かないことにしませう。(但し譯文の場合を除く。)

此頃、わが編輯室へ會員たちから種々の注文や希望が参ります。甚だ嬉しいことだと思ひます。なるべく皆様の御望みをみなすやうにしたいものです。今後、號を追うて、太陽の話だの、天文用スペクトロスコープだの、星座の解説だのを載せませう。

次號は多分、「京都大學天文臺新築記念號」といつたやうなものになるでせう。建築は全部出来上りましたし、人は揃ひましたし、三十三センチ(十三吋)の反射鏡も無事に到着しましたので、天文臺の新装も之れで一段落です。近頃、京都大學新聞といふものが大學々

友會から發刊されましたが。その第一號から新築教授の新築天文臺に關する長い寄稿が載り、山本氏の歸朝談も寫真入りで現はれ、其の他にも色々天文に關する記事がのせられてまことに賑やかです。右の新築教授の文は追つて我が天界誌上に轉載する筈です。

前號にも書きました通り、ひろく一般社會にやましたる新聞雜誌の中に天文關係の記事がありましたらば切り抜いて當編輯室へ御送り下さるやう願ひます。好いものは誌上に紹介し、間違ひあるものは其れを批評して誤解の無いやうにしたいものです。

古い會員たちは御記憶下さるだらうと思ひますが、天界創刊後まもなく、海老氏の御盡力により「天文語彙」なる附録が每號出たことがありました。あれはアからコまで出たまゝ其の後今日まで休載になつてゐます。今、海老氏は會を去られましたけれど、右の續稿が未完成のまま、編輯室に残されてあります。今、吾々の考へとしては、残りのサからラまで全部を完成して、既刊の分と合はせ、單行本として出版したいと思つてゐます。しかし之れについては、始め、天界の特別附録として出した關係上、一應、現今の會員たちの賛否の意見を知らせて置きたいと思ひます。遠慮なく仰しやつて下さい。

又、元からの通り、會員のぞなたからも、天界のために色んな種類の原稿を歓迎します。

天文同好會

- 本誌社支部 京都帝國大學
- 東京帝國大學
- 東京市同好會
- 東京市同好會
- 第一朱雀小學校
- 飯橋
- 中山
- 新
- 中京支部 京都市錦小路油小路東
- 青地喜代藏
- 三陣支部 京都市七本松五辻下
- 河村篤之助
- 西陣支部 京都市第三高等學校
- 大阪支部 港區八幡屋寶町三ノ一
- 吉岡哲夫
- 神戸支部 神戸市生田町四丁目
- 森下次太郎
- 甲南支部 兵庫縣尼崎町
- 岡山市門田二十一
- 水野 千里
- 美作支部 岡山縣吉田郡
- 濱野眞
- 名古屋支部 東區千種町高見三七
- 長野支部 長野市
- 長野縣上高井郡須坂小學校
- 宮川周治
- 高水支部 長野縣松本市築須坂
- 上條清人
- 諏訪支部 長野縣上諏訪中學校
- 三澤勝備
- 廣島支部 廣島市研屋町五一
- 龍野 德一
- 九州支部 福岡縣大牟田市龜甲町
- 古賀 和吉
- 山口支部 山口高等學校化學教室
- 野垣 寛之
- 仙臺支部 仙臺第二高等學校
- 吉井 正敏
- 北海道支部 札幌測候所内
- 松川 哲美

大正十四年五月二十四日印刷(定價三十五錢)
大正十四年五月二十五日發行(郵税金五厘)

聖護院局私書函第十二號
(京都帝國大學天文臺内)

天界 編輯兼發行者 天文同好會
右代表者 振替貯金大阪五七六五番
印刷所 京都市下京區西洞院七條南入
印所 内外出版株式會社印刷部

賣捌所 警 醒 社
東京京橋銀座尾張町

スタンダード三吋天體望遠鏡

天界の神秘

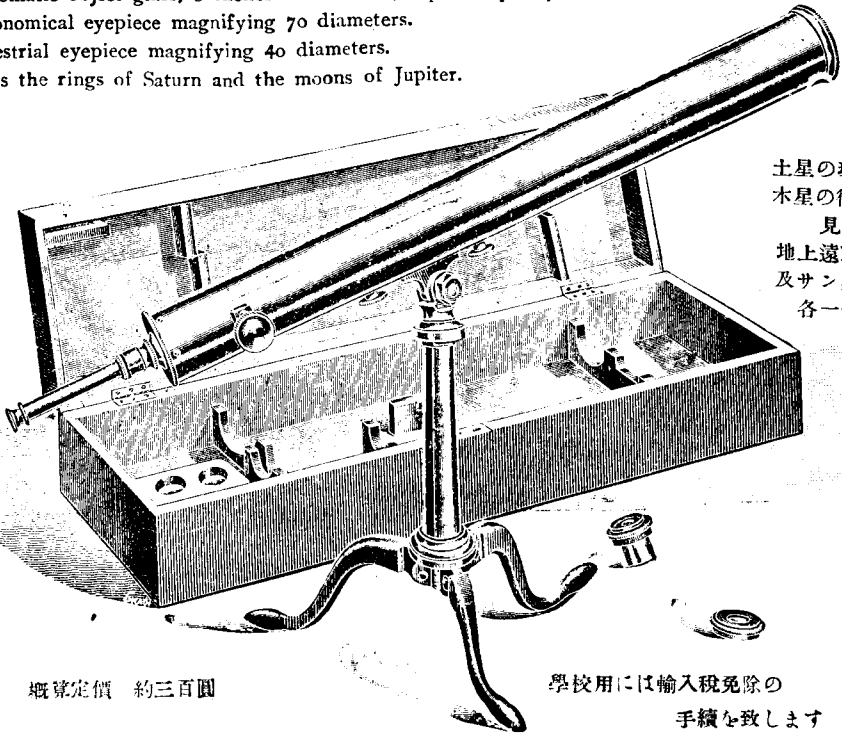
宇宙建築の機密は
吾人の探究を待つて居ります

いざ

天界旅行に登りませう

萬有の生氣に觸るるために
オットウェイ望遠鏡を持つて

Solid brass body, 3ft. 6 inches in length.
Achromatic object glass, 3 inches in diameter, superior quality.
Astronomical eyepiece magnifying 70 diameters.
Terrestrial eyepiece magnifying 40 diameters.
Shows the rings of Saturn and the moons of Jupiter.



土星の環
木星の衛星
見えまい
地上遠望レンズ
及サンクラス
各一個附屬す

概算定價 約三百圓

學校用には輸入税免除の
手續を致します

Ottway's
3-inch Standard Astronomical Telescope

英國オットウェイ會社特製

日本代表

近江セールズ株式會社

近江八幡町

大正九年十一月二十四日發行
近江セールズ株式會社
近江八幡町